



河北診療所 耳鼻科

はじめまして | 診療案内 | 医師紹介 | 所在地案内 | お問い合わせ

耳なりにお困りの方

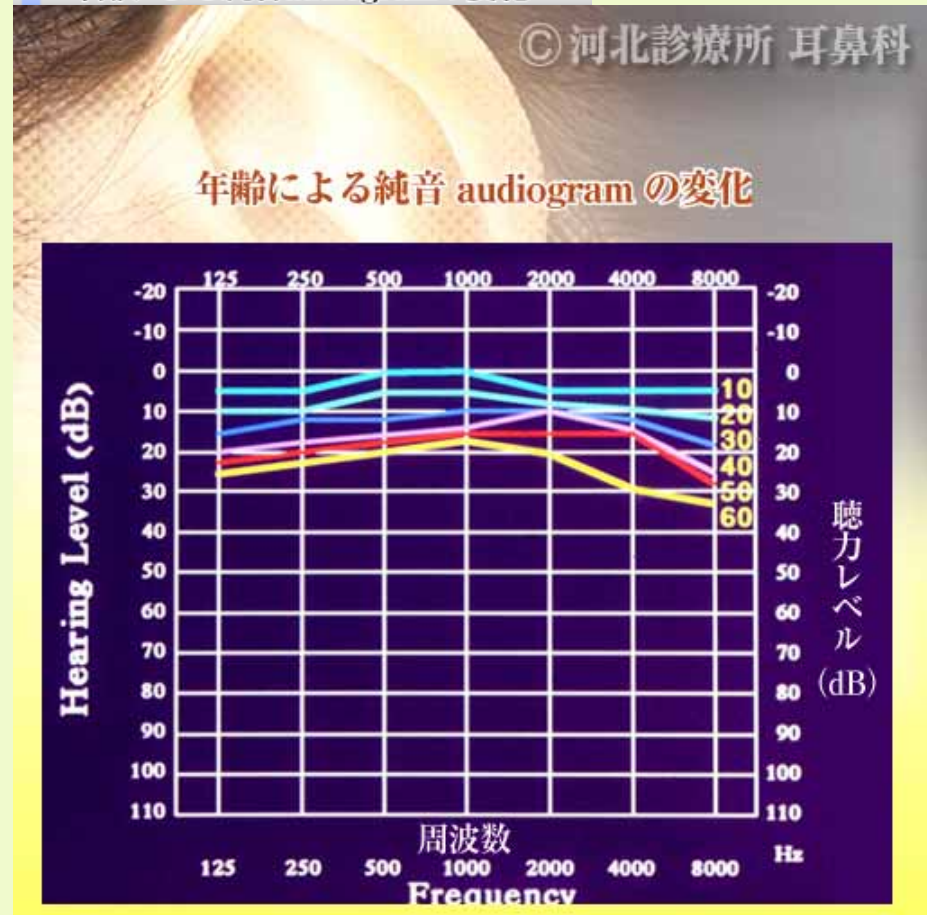
難聴にお困りの方

デジタル補聴器

音が聞こえる仕組み

[TOP](#) > [難聴にお困りの方](#) > 年齢による純音audiogramの変化

年齢による純音audiogramの変化



年齢による聞こえの変化聞こえの程度を検査する方法のひとつとして、いろいろな周波数の純音を用いて、レシーバーから音を聞いてもらい、最初に聞こえた最も小さな音の大きさのレベルを測定する方法があります。

この検査を、純音聴力検査といい、耳鼻咽喉科の外来ではしばしば行われる検査です。10代から60代までの、各年代毎に健康な人々10名ずつ集ってもらい、皆さんに聴力検査を行った結果が、この図 (audiogram) に記載されております。

この聴力図によると、10代の平均聴力レベルが最も良好で、0から5dBにり、20代がその次で、年を取るにつれてレベルが低下し、60代では、特に高い周波数の領域が

20から35 dB と下降しております。

しかし、総合的に判断しますと、各年代毎の差があまり大きくないと思います。



前のページ



次のページ

- [高齢者の難聴について](#)
- [会話がハッキリと聞き取れる仕組み](#)
- [年齢による純音audiogramの変化](#)
- [耳音響放射検査\(OAE\)とは？](#)
- [エコーの検出](#)
- [耳音響放射\(OAE\)は年齢によりどう変化するか？](#)
- [エコーが消失する理由とその対策](#)
- [最近のデジタル補聴器](#)

Copyright 2006 Kahokushinryoujo All Rights Reserved.